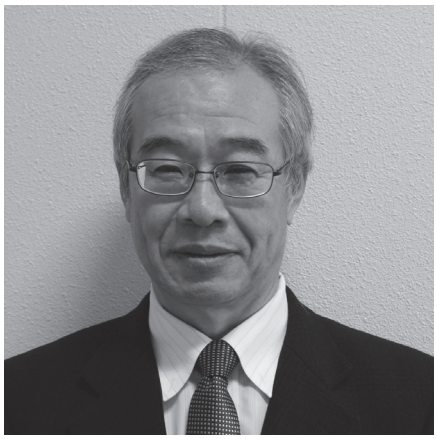
青木　邦男教授　略歴・主要業績



1949 年 9 月 26 日、山口県に生まれる

学歴

1968 年 3 月　下関市立第一高等学校　卒業
1972 年 3 月　高知大学教育学部特設体育課程　卒業
1979 年 3 月　東京大学大学院教育学研究科体育学専門課程
　　修了（教育学修士）

職歴

1973 年 4 月　山口県玖珂郡周東町立米川中学校非常勤講師
　　（～ 1974 年 3 月）
1974 年 4 月　学校法人高水高等学校常勤講師
　　（～ 1977 年 3 月）
1979 年 4 月　山口県萩高等学校教諭（～ 1981 年 9 月）
1981 年 10 月 弘前大学教育学部講師（～ 1982 年 9 月）
1982 年 10 月 山口女子大文学部講師（～ 1984 年 3 月）
1984 年 4 月　山口女子大文学部助教授（～ 1992 年 3 月）
1992 年 4 月　山口女子大文学部教授（～ 1994 年 3 月）
1994 年 4 月　山口女子大（現山口県立大学）社会福祉学部教授（～現在）

所属学会

1979 年　日本体育学会（～現在）
1983 年　日本学校保健学会（～現在）
1984 年　日本教育社会学会（～ 1990 年）
1988 年　ICSS（～ 1999 年）
1990 年　日本体力医学会（～現在）
1992 年　日本家政学会（～ 1996 年）
1993 年　日本社会福祉学会（～現在）
1995 年　日本老年社会学会（～現在）

学外での活動

1992 年　山口市体育協会（理事）（～ 1996 年）
1998 年　山口県スポーツ振興プラン策定委員会（コーディネーター）（～ 2000 年）
1999 年　山口県高等学校運動部活動検討協議会（副会長、会長）（～ 2002 年）

2001 年　山口県社会保険健康づくり事業推進協議会（副会長、会長）（～ 2008 年）
2001 年　第 66 回国民体育大会山口県準備委員会 施設専門委員会（副委員長）（～ 2011 年）
2008 年　おいでませ！山口国体・山口大会実行委員会全国障害者スポーツ大会専門委員会（委員）（～ 2011 年）
2010 年　山口県障害者スポーツ協会 スポーツ医・科学サポート推進委員会 /
障害者スポーツ振興方策の在り方検討委員会（副委員長）（～ 2015 年）
2011 年　山口県スポーツ推進審議会委員（～ 2015 年）
2012 年　山口市スポーツ推進計画策定委員会（委員長）（～ 2013 年）
2012 年　第 28 回全国健康福祉祭山口大会基本構想策定委員会（委員長）（～ 2013 年）
2013 年　山口県施設管理財団 評議員会（評議員長）（～ 2015 年）
2013 年　ねんリンピックおいでませ！山口 2015 実行委員会 式典・事業専門委員会（委 員 長）（～ 2015 年）

研究業績

○共著
1988 年『身体活動の社会学』（海老原修・青木邦男・小松直行）高文堂出版社
2009 年『発達障害の理解と支援』（斎藤美麿・林隆・野口幸弘・青木邦男・松本耕二・藤田久美）ふくろう出版

○著書の部分執筆
1984 年「スポーツ諸団体におけるスポーツの実施と教育の責務」浅見俊雄･宮下光正･渡辺融編『健康･体力とスポーツ』（現在体育・スポーツ体系第 10 巻）講談社、125-132 頁
1998 年「社会現象としての学校体育と生涯教育・スポーツの観点からみた学校体育」加賀屋凞彦・麓信義編『小学校教育のための体育学概論』杏林書院、47-62 頁
1990 年　小野三嗣監修『高齢者にやさしい運動』厚生団、多項目に亘り部分的に執筆
1998 年「スポーツと経済」田口貞善･山地啓司編『若い時に知っておきたい運動･健康とからだの秘密』近代科学者、196-212 頁
1998 年「少子社会とスポーツ」池田守・守能信次編『スポーツの社会学』杏林書院、49-60 頁
2006 年「運動習慣と健康心理臨床」小林芳郎編『健康のための心理学』保育出版社、180-183 頁

○論文
1978 年　共著「社会に潜在する発達を阻害する因子－スポーツからドロップアウトさせるもの－」『教職研修』第 7 巻第 3 号、77-79 頁
1978 年　共著「社会に潜在する発達を阻害する因子－スポーツ参加を妨げるもの－」『教職研修』第 7 巻第 4 号、79-82 頁
1979 年　共著「体育授業における「体操」の実施状況および「体操」に対する教師の考え方について」『体育科学』第 9 号、94-99 頁
1979 年　単著「アメリカにおける政府機関の体力つくり政策の展開（1)」『健康と体力』第 11 巻第 2 号、80-83 頁
1979 年　単著「アメリカにおける政府機関の体力つくり政策の展開（2)」『健康と体力』第 11 巻第 3 号、

94-97 頁

1980 年　共著「アメリカにおけるスポーツ・体力つくりブ－ムと PCPFS-1」『トレーニングジャーナル』第 2 巻第 11 号、55-58 頁

1981 年　共著「アメリカにおけるスポーツ・体力つくりブ－ムと PCPFS-2」『トレーニングジャーナル』第 3 巻第 1 号、55-57 頁

1981 年　単著「米国バレーボール競技の動向」『日本バレーボール協会機関誌・バレーボール』第 9 巻第 7 号、43-46 頁

1983 年　単著「アメリカ合衆国のバレーボール界」『バレーボールマガジン』第 11 巻第 12 号、68-72 頁

1983 年　単著「米国大学女子バレーボール選手の形態と機能」『日本バレーボール協会機関誌・バレーボール』第 11 巻第 2 号、65-68 頁

1983 年　単著「12 分間走による最大酸素摂取量算出の試み」『学校体育』第 36 巻第 6 号、134-139 頁

1983 年　共著「正課持久走授業への RPE（主観的運動強度）導入の試み」『体育の科学』第 33 巻第 11 号、839-843 頁

1984 年　単著「An investigation of the relationship between estimated max $\dot{V}O_2$ and physical fitness in Yamaguchi Women's University students」『Bulletin of Yamaguchi Women's University』第 9 号、63-69 頁

1985 年　単著「Influences of Sport Involvement on Throwing Performance of College Female's Students: Analysis of a Path Model」『Bulletin of Yamaguchi Women's University』第 10 号、63-69 頁

1985 年　単著「アメリカ・アマチュア・スポーツ組織の研究（上）」『トレーニングジャーナル』第 7 巻第 7 号、56-59 頁

1985 年　単著「アメリカ・アマチュア・スポーツ組織の研究（下）」『トレーニングジャーナル』第 7 巻第 8 号、66-69 頁

1985 年　単著「初潮、月経と体育・スポーツ活動に関する一考察（その一）」『保健の科学』第 27 巻第 10 号、707-71 頁

1985 年　単著「初潮、月経と体育・スポーツ活動に関する一考察（その二）」『保健の科学』第 27 巻第 11 号、787-793 頁

1986 年　単著「実技測定評価に及ぼす評価者の技能水準および個人的特性の影響」『学校体育』第 39 巻第 1 号、132-139 頁

1986 年　単著「女子大生の投能力に及ぼすスポーツ参与の影響」『体育の科学』第 36 巻第 3 号、201-204 頁

1987 年　共著「中学生の体脂肪に影響を及ぼす要因の検討－重回帰分析による要因選択」『山口女子大学研究報告』第 12 号、30-42 頁

1987 年　共著「山口県児童生徒の皮脂厚と体力」『山口女子大学研究報告』第 12 号、43-61 頁

1987 年　単著「スポーツ少年団員のケガと発症要因の分析」『臨床スポーツ医学』第 4 巻第 4 号、443-440 頁

1987 年　共著「スポーツ少年団員のスポーツに対する評価的態度を規定する要因」『学校体育』第 40 巻第 9 号、413-418 頁

1987 年　単著「運動部参加者のスポーツに対する評価的態度を規定する要因－パス解析を用いて－」『体育の科学』第 37 巻第 10 号、767-771 頁

1988 年　単著「体育の時間のつらさ・らくさ加減」『教職研修』第 193 号、124-128 頁

1988 年　単著「高校運動部員の部活動継続と退部に影響する要因」『体育学研究』第 34 巻第 1 号、89-100 頁

1988 年　単著「リーダーシップ PM 類型とスポーツ少年団の集団特性との関連」『学校体育』第 42 巻第 13 号、72-75 頁

1990 年　単著「高校運動部員の退部を思いとどまる理由と部活動継続に影響する要因」『体育の科学』第 40 巻第 1 号、65-70 頁

1990 年　共著「一流コーチの選手早期育成に対する評価に関する要因」『平成元年度日本オリンピック委員会スポーツ医・科学研究報告 No. Ⅵスポーツタレントの発掘方法に関する研究－第 1 報』、15-23 頁

1990 年　共著「Age Menarch and Selected Menstrual Characteristics in Young Japanese Athletes」『Research Quarterly For Exercise and Sport』Vol. 161（2)、178-183 頁

1990 年　単著「スポーツ外傷・障害に対する救急処置の現状と今後の課題」『臨床スポーツ医学』第 7 巻第 10 号、1193-1199 頁

1991 年　単著「スポーツ少年団活動による疲労感とそれに関連する要因」『保健の科学』第 33 巻第 2 号、135-139 頁

1991 年　共著「一流ジュニアコーチのコーチ・キャリア、選手育成に対する意欲および性格特性」『平成 2 年度日本オリンピック委員会スポーツ医・科学研究報告 No. Ⅵスポーツタレントの発掘方法に関する研究－第 2 報』、15-23 頁

1991 年　単著「大学運動部員のスポーツ傷害に関する一考察」『臨床スポーツ医学』第 8 巻第 4 号、413-418 頁

1991 年　単著「大学生の競技スポーツ・キャリアとそれに関連する性格特性」『体育の科学』第 41 巻第 6 号、481-485 頁

1991 年　単著「保健・体育指導の今日的課題」『教育実践』第 958 巻、4-8 頁

1992 年　共著「一流ジュニアコーチのコーチ・キャリアの特徴及び選手発掘・育成に対する意見」『平成 3 年度日本オリンピック委員会スポーツ医・科学研究報告 No. Ⅵスポーツタレントの発掘方法に関する研究－第 3 報』、23-30 頁

1992 年　共著「大学運動部員のスポーツ傷害に関連する性格特性」『学校保健研究』第 34 巻第 4 号、158-168 頁

1993 年　単著「高齢者における健康度の自覚・自己評価のずれに関連する要因」『保健の科学』第 35 巻第 5 号、358-363 頁

1993 年　共著「幼児の運動能力に影響を及ぼす要因」『日本家政学会誌』第 44 巻第 6 号、439-449 頁

1993 年　単著「高齢者の自覚的健康度、自覚症状と運動実施」『臨床スポーツ医学』第 10 巻第 9 号、1115-1119 頁

1994 年　共著「高齢者の健康度自己評価に関連する研究－関連要因と主観的幸福感との関連」『日本家政学会誌』第 45 巻第 2 号、105-114 頁

1994 年　単著「高齢者の自覚的健康度に関連する要因」『体育学研究』第 38 巻第 5 号、375-386 頁

1995 年　共著「エイズについての知識、イメージ、対応意識と性体験等の相互関連」『学校保健研究』第 36 巻第 9 号、669-677 頁

1995 年　共著「スポーツ少年団員の学校生活およびスポーツ活動への適応に関するパーソナリティ特性」『体育の科学』第 45 巻第 10 号、813-818 頁

1996年　単著「スポーツ少年団への団員の過度適応と学校への適応との関連」『体育学研究』第40巻第5号、291-303頁
1996年　共著「高齢者の抑うつ性低減に及ぼすスポーツ活動の相対的影響度に関する研究」『デサントスポーツ科学』第17巻、127-137頁
1996年　共著「高齢者の健康と生きがいに及ぼすソーシャル・サポートの影響」『平成7年度シニアプラン公募研究年報』、1-22頁
1996年　共著「スポーツ外傷・障害が選手の心理に与える影響」『臨床スポーツ医学』第13巻第4号、451-458頁
1996年　単著「健康教室参加高齢者の自己開示の活動継続年数による変化とその関連要因」『老年社会科学』第18巻第1号、11-22頁
1996年　共著「女子学生のダイエットに関連する要因」『保健の科学』第38巻第11号、779-784頁
1997年　単著「老いを巡る断想－老いの諸相と主観的健康観－」『バイオメカニクス研究』第1巻第2号、33-36頁
1997年　単著「高齢者の抑うつ状態と関連要因」『老年精神医学雑誌』第8巻第4号、401-410頁
1997年　共著「高校運動部員のスポーツ外傷･障害発症に及ぼす心理社会的ストレスの影響」『臨床スポーツ医学』第14巻第5号、579-586頁
1997年　共著「女子大生の抑うつ状態とそれに関連する要因」『学校保健研究』第39巻第3号、207-220頁
1997年　共著「高校運動部員の部活動適応感に関連する社会心理的要因」『体育学研究』第42巻第6号、215-232頁
1998年　共著「高齢者の抑うつの実態と関連要因」『山口県立大学社会福祉学部紀要』第4号、9-21頁
1998年　共著「高校運動部員の攻撃性と関連する心理社会的要因」『体育の科学』第48巻第5号、415-421頁
1998年　単著「高齢者の健康度自己評価に関連する要因－配偶者の健康度評価に着目して－」『老年社会科学』第20巻第2号、132-142頁
1998年　単著「高校運動部員の学校適応感に関連する心理社会的要因」『学校保健研究』第40巻第5号、411-424頁
1999年　単著「在宅高齢者の神経症症状とそれに関連する要因」『社会福祉学』第39巻第2号、83-99頁
1999年　共著「慢性疾患罹患高齢者の神経症とそれに関連する要因」『山口県立大学社会福祉学部紀要』第5号、1-9頁
1999年　共著「スポーツ外傷・障害と心理社会的要因」『山口県立大看護学部紀要』第3号、9-19頁
1999年　単著「高齢者の一病息災を支える心理社会的要因」『健康文化明治生命研究助成論文』No.5、1-9頁
2000年　単著「デイサービスセンター通所高齢者の対人印象に関連する高齢者側の要因」『保健の科学』第42巻第2号、139-144頁
2000年　単著「スポーツ傷害発症に及ぼす心理社会的要因の影響」『山口県医学会誌』第34号、197-200頁
2000年　単著「在宅高齢者の死に対する意識の構造と加齢による変化」『山口県立大学社会福祉学部紀要』第6号、77-86頁

2000 年　共著「在宅高齢者の精神的健康の実態とそれに関連する要因」『山口県立大学大学院論集』第 1 号、133-140 頁

2000 年　共著「加齢に伴う細胞性免疫能低下と NO に関する疫学的研究」『必須アミノ酸研究』No.158、38-43 頁

2000 年　単著「健康指導教室参加高齢者の精神的健康の変化に関連する要因」『体育学研究』第 45 巻第 1 号、1-14 頁

2001 年　共著「高齢者の体力と NO」『必須アミノ酸研究』No.161、74-78 頁

2001 年　共著「島在住在宅高齢者の健康度自己評価に関連する要因－山口県東和町の在宅高齢者を調査対象として－」『保健の科学』第 43 巻第 11 号、885-891 頁

2001 年　単著「在宅高齢者の孤独感とそれに関する要因－地方都市の調査研究から－」『社会福祉学』第 42 巻第 1 号、125-136 頁

2001 年　単著「青少年の運動部活動からのドロップアウト～その予防・対策としての有能感・適応感に焦点づけて～」『体育の科学』第 51 巻第 5 号、342-348 頁

2001 年　共著「在宅高齢者のセルフ･エフィカシーとそれに関連する要因」『社会福祉学』第 41 巻第 2 号、35-48 頁

2001 年　共著「文科省版体力スクリーニングテストに関連する要因」『臨床スポーツ医学』第 18 巻第 3 号、342-346 頁

2002 年　単著「健康指導教室参加高齢者の自尊感情の変化に関連する要因」『社会福祉学』第 43 巻第 1 号、188-200 頁

2002 年　共著「健康運動教室参加高齢者の気分に及ぼす一過性の身体活動の影響」『臨床スポーツ医学』第 19 巻第 5 号、568-574 頁

2002 年　単著「高校生の精神的健康に関連する要因の共分散構造分析」『学校保健研究』第 44 巻第 5 号、391-402 頁

2002 年　単著「運動の不安軽減効果及びうつ軽減効果に関する文献研究」『山口県立大学大学院論集』第 3 号、37-45 頁

2003 年　単著「健康関連 QOL を改善する身体活動を理解するための運動行動モデル：TPB と TTM について」『山口県立大学大学院論集』第 4 号、95-98 頁

2003 年　単著「高校運動部員のスポーツ観とそれに関連する要因」『体育学研究』第 48 巻第 2 号、207-223 頁

2004 年　単著「高校運動部員の充実感変化に関連する要因の共分散構造分析」『山口県立大学社会福祉学部紀要』第 10 号、113-128 頁

2004 年　単著「在宅高齢者の社会活動性に関連する要因の共分散構造分析」『社会福祉学』第 45 巻第 1 号、23-34 頁

2004 年　単著「高校運動部員の精神的健康変化に関連する要因」『学校保健研究』第 46 巻第 4 号、358-371 頁

2005 年　単著「健康指導教室参加高齢者の PGC モラール得点の変化に関連する要因」『山口県体育学研究』第 48 号、9-19 頁

2005 年　単著「在宅高齢者の運動行動のステージと関連する研究」『体育学研究』第 50 巻第第 1 号、13-26 頁

2005 年　単著「高校運動部員の社会的スキルとそれに関連する要因」『国立オリンピック記念青少年総

合センター研究紀要』第５号、25-34 頁

2006 年　単著「A Covariance Structure Model for Factors Related to Social　Activities of the Elderly Living at Home」『JapaneseSociety For The Study Of Social Welfare』Number 4、37-46 頁

2006 年　共著「高校運動部員の攻撃性とそれに関連する要因」『山口県立大学社会福祉学部紀要』第 12 号、1-15 頁

2007 年　単著「高校生の攻撃性、自己効力感、社会的スキルならびに精神的健康の関連性」『学校保健研究』第 49 巻第１号、38-46 頁

2007 年　単著「9 年前のスポーツ少年団活動に関する想起の正確性と想起の変化に関連する要因」『山口県立大学社会福祉学部紀要』第 13 号、11-21 頁

2008 年　単著「在宅高齢者の日常生活体力状況、健康状態、運動・スポーツ実施状況ならびに活動能力の関連性」『保健の科学』第 50 巻第３号、193-200 頁

2008 年　単著「在宅高齢者の性格特性、生き方志向、運動意識・態度ならびに運動実施状況の関連性」『山口県立大学社会福祉学部紀要』第 14 号、1-10 頁

2008 年　単著「在宅高齢者の運動行動のステージ変容に及ぼすプリント・メディアの影響に関する研究」『体育学研究』第 53 巻第第２号、231-245 頁

2008 年　単著「在宅高齢者の QOL、ADL、運動実施状況および健康度の関連性」『社会福祉学』第 49 巻第２号、71-84 頁

2008 年　共著「社会福祉教育におけるコンピテンシー評価項目の検討」『山口県立大学学術情報』第１号、65-78 頁

2008 年　共著「認知症高齢者に対する運動療法の介入効果に関する文献的研究」『山口県立大学学術情報』第１号、195-204 頁

2008 年　共著「車椅子バスケットボール競技者の競技時心拍数と主観的運動強度の関係」『山口県立大学学術情報』第１号、187-194 頁

2009 年　単著「高齢者向け生きがい感スケールの因子構造とその得点の検討」『山口県立大学社会福祉学部紀要』第 15 号、101-108 頁

2009 年　共著「大学生の精神的健康に関連する要因の文献的研究」『山口県立大学学術情報』第１号、175-183 頁

2010 年　共著「高校生の食育、睡眠、運動および食事の関連性」『保健の科学』第 52 巻第５号、347-353 頁

2011 年　共著「在宅高齢者の膝・腰痛状況、心理的不調、健康・体力状況および社会的活動状況の関連性」『臨床スポーツ医学』第 28 巻第６号、679-684 頁

2011 年　単著「和田及び村上・村上の主要５因子性格特性尺度の因子構造の検討」『山口県立大学学術情報』第４号、27-40 頁

2011 年　共著「高齢者の生きがいに関連する文献的研究」『山口県立大学学術情報』第４号、121-130 頁

2012 年　共著「在宅高齢者の心理・精神的特性、その相互連関および社会的行動特性との関連性」『保健の科学』第 54 巻第４号、279-285 頁

2012 年　共著「在宅高齢者の地域包括支援センター利用意向とそれに関連する特性」『保健師ジャーナル』第 68 巻第 12 号、1082-1089 頁

2012 年　単著「在宅高齢者の運動行動変容に係わる変容プロセス尺度の因子の検討」『山口県立大学学術情報』第５号、137-144 頁

2012 年　単著「在宅高齢者に対する自己決定理論に基づく運動継続のための動機付け尺度の因子の検討」『山口県立大学学術情報』第 5 号、73-79 頁

2014 年　単著「在宅高齢者の主観的健康管理能力、健康情報等利用状況、健康･体力状況、運動実施状況、食習慣ならびに健康関連 QOL 満足度の関連性」『山 口県立大学学術情報』第 7 号、119-129 頁

2014 年　単著「在宅高齢者の健康関連 QOL 満足度に及ぼす運動実施状況の影響」『山口県立大学社会福祉学部紀要』第 20 号、15-27 頁

2014 年　単著「在宅高齢者の精神的健康状態と社会関係、生きがい感、役割および身体的健康状態ほかの関連性」『老年精神医学雑誌』第 25 巻第 8 号、916-927 頁

○調査報告書

1987 年　共著「山口県児童生徒の体力･健康に関する研究報告－皮脂厚と身体機能を中心にして－」『山口女子大体育特別研究』、1-112 頁

1994 年　共著「年金生活者の生活と意識に関する調査研究」山口県労働者福祉協議会

1997 年　共著「年金生活者の生活と意識－等身大の日常生活をみつめて－」山口県労働者福祉協議会

1998 年　共著「山口県下高校生のスポーツ外傷・障害に関するアンケート調査事業報告書」日本体育協会公認スポーツドクター山口県協議会

2000 年　共著「山口県下高校運動部員のスポーツ外傷・障害に関する調査研究－その 1：外傷・障害名と部位、発症原因など」『臨床スポーツ医学』第 17 巻第 4 号、473-482 頁

2000 年　共著「山口県下高校運動部員のスポーツ外傷･障害に関する調査研究－その 2：救急処置･医療、復帰状況など」『臨床スポーツ医学』第 17 巻第 5 号、617-622 頁

2001 年　単著「山口県東和町在住高齢者の精神的健康に関連する要因」『平成 11・12 年度 大学院共同研究プロジェクト研究成果報告』、45-55 頁

○その他（書評、論評、随筆など）

1978 年　共著「老人の健康増進を図るための総合健診のデータに基づき健康度に応じた運動・生活プログラムの設定についての研究」『日本健康開発財団』1-63 頁

1979 年　共著「合衆国の体育における性差別の法的規制：Title Ⅸを中心にして」『日本体育学会大会号』30、159 頁

1981 年　共著「正課持久走時に高い（低い）HR、RPE を示し者」『日本体育学会大会号』32、581 頁

1990 年　単著「話題源英語（下）[member]」東京法令出版株式会社、775-776 頁

1996 年　単著「スポーツ傷害がその後のスポーツへの再社会化及び態度に及ぼす影響の縦断的研究」『平成 5-7 年度科学研究費補助金（一般研究（C））研究成果報告書』、1-40 頁

1999 年　単著「慢性疾患罹患高齢者のこころの健康改善に及ぼす身体活動の相対的影響度に関する研究」『平成 9-10 年度科学研究費補助金（一般研究（C））研究成果報告書』、1-44 頁

2000 年　共著「生涯スポーツの充実に向けて－豊かな老後を送るために－：高齢者健康指導教室の指導と調査研究から見えてきたこと」『日本体育学会大会号』51、63 頁

2005 年　単著「在宅高齢者の健康関連 QOL に及ぼす運動･スポーツ継続の影響と規定要因に関する研究」『平成 14-16 年度科学研究費補助金（一般研究（C））研究成果報告書』、1-40 頁

2009 年　単著「TTM に基づく介入方法が在宅高齢者の運動行動変容に及ぼす有効性に関する研究」『平成 18-20 年度科学研究費補助金（一般研究（C））研究成果報告書』、1-4 頁

2013 年　単著「自己決定理論に基づく変容プロセスが高齢者の運動行動変容に及ぼす影響に関する研究」『平成 22-24 年度科学研究費補助金（一般研究（C））研究成果報告書』、1-4 頁